

# 令和8年度 三田市立中学校・特別支援学校 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

三田市「トライやる・ウィーク」推進協議会

## 〇はじめ

はじめは、28年前に遡ります。阪神・淡路大震災や神戸児童殺傷事件によって私たちは、大切なものを失いました。しかし、そこから立ち上がる中で、自他の生命や人権を尊重する心、ボランティアの精神、共に生きることを学ぶ体験も重ねました。また、人間としての在り方や生き方を改めて考えることとなりました。

そんな背景の中で「心の教育」の充実を図ることの大切さが話し合われ、平成10年度から地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の取組が開始されました。

## 〇体験活動を通して豊かな感性や創造性を

～「トライ」は「挑戦する」と「学校・家庭・地域のトライアングル」～

「トライやる・ウィーク」は、職業体験や文化体験など、地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して、豊かな感性や創造性などを自ら高めたり、自分なりの生き方を見つけたりすることができるように支援するものであり、単なる職業体験ではありません。

また、その取組を通じて学校・家庭・地域の連携を深め、子どもたちを中心とした、地域コミュニティ構築へと発展することを期待するものです。

## 〇子どもたちに育てたい力

- ◆ 人間関係の深まり 「がんばったら認められた」「人との接し方や関わり方がわかった」
- ◆ 達成感や自信、自尊感情の高揚 「自分にもできた」「人の役に立てた」
- ◆ 社会的自立の基礎づくり 「礼儀や言葉遣い、社会ルールを守ることの大切さを感じた」
- ◆ 感謝や尊敬など地域の大人や親の生き方への意識の高まり 「地域の大人や親への感謝の気持ちを感じた」
- ◆ 職業観、勤労観、進路意識の深まり 「働くことの厳しき、楽しさを感じた」「こんな人になりたい」



「トライやる・ウィーク」を通して、自然や社会、人と関わり、感動したり困難に直面して葛藤したり、試行錯誤するなかで、このような力を育てたいと考えています。これらを学校(教員)・家庭(保護者)・地域(事業所等)の皆さんで共有し、「トライやる・ウィーク」の更なる充実に向けて、ご協力をお願いします。

## 〇実施時期 ※令和8年度より実施時期が変更になります

I 期 令和8年10月19日(月)～10月23日(金)

長坂・八景・富士・ゆりのき台中学校・ひまわり特別支援学校

II 期 令和8年10月26日(月)～10月30日(金)

上野台・狭間・けやき台・藍中学校



できたという体験、「すごいね」「がんばったね」「ありがとう」と喜んでくれる人の存在が、人としての自信を深めることになります。皆さんの温かい声かけをお願いします。

### 生徒が成長するきっかけに!

- 変容や成長について  
「挨拶がしっかりとできるようになったね」「がんばってきた成果が出ているね」
- 体験してきたことについて  
「事業所で黙々と作業している姿を見かけたよ(聞いたよ)。がんばってきたんだね」
- 将来の夢や進路について  
「仕事には厳しさもあるけど、それ以上に達成感や充実感などのやりがいもあるよ」



### 子どもとのコミュニケーションを深めるきっかけに!

- 1日の成長について  
「1日よくがんばったね。今日はどんな活動だったの?」
- 事業所の方について  
「どんなことを言ってもらった?ありがたいね」
- 社会や礼儀、言葉遣いなどについて  
「お客様に喜んでもらえる礼儀や言葉遣いは大切だね」
- 将来の進路や職業などについて  
「○○に興味があるのか。将来の仕事として向いているかもしれないよ」

### 子どもたちの可能性は無限です!

- 励ましの言葉  
「ご苦労様。がんばってね(がんばってるね)」  
「○○できるようになったね」「○○してくれて助かったよ」
- 人生・地域の先輩として伝えたいこと  
「この体験は、社会に出たとききっと役立つと思うよ」
- 礼儀や言葉遣い、社会ルールについて  
「社会では、あいさつや礼儀がとても大切なんだよ」
- 働くことの厳しさや楽しさについて  
「この仕事の○○は厳しいけど、△△なところにやりがいがあるよ」  
「お客様に喜んでもらえることがうれしいね」

